

氷ノ山・三の丸生物群集保護林 [円山川森林計画区]

管轄森林管理局	近畿中国森林管理局
所在地	兵庫県養父市
面積	384.75ha
設定年	平成5年

保護林の概要	氷ノ山・三の丸生物群集保護林は、裏日本地帯における西限付近のブナ-オオバクロモジ群落の天然林となっている。保存する主な種が管理方針書に列挙されているが、そうでない種であっても将来の利用の観点から全体としての保存を図ることを目的としている。
--------	---



モニタリング調査の概要

実施年度	平成30年度
設定項目	樹木の生育状況、下層植生の生育状況、野生動物の生息状況、病虫害・鳥獣害・気象害の発生状況、論文等発表状況、事業・取組実績、巡視実施状況等
調査手法	資料調査により樹木の生育状況、下層植生の生育状況、論文等発表状況を把握。 森林概況調査では調査ルートにおける樹木・下層植生の生育状況、病虫害・鳥獣害・気象害の発生状況を把握。 森林詳細調査では3プロットにおいて樹木・下層植生の生育状況、病虫害・鳥獣害・気象害の発生状況を把握。 動物調査として、自動撮影カメラ調査、ピットフォールトラップ調査を実施。 聞き取り調査により、事業・取組実績、巡視実績状況等を把握。

結果概要

[天然林等の構成状況]
・保護林及び隣接林分の森林タイプの分布等に大きな変化なし。
・樹木の生育状況に目立った変化なし。

[野生生物の生育・生息状況]
・下層植生の衰退は見られない。
・外来種や特定の植物の増加は見られない。
・通常見られる動物以外にイノシシを確認。

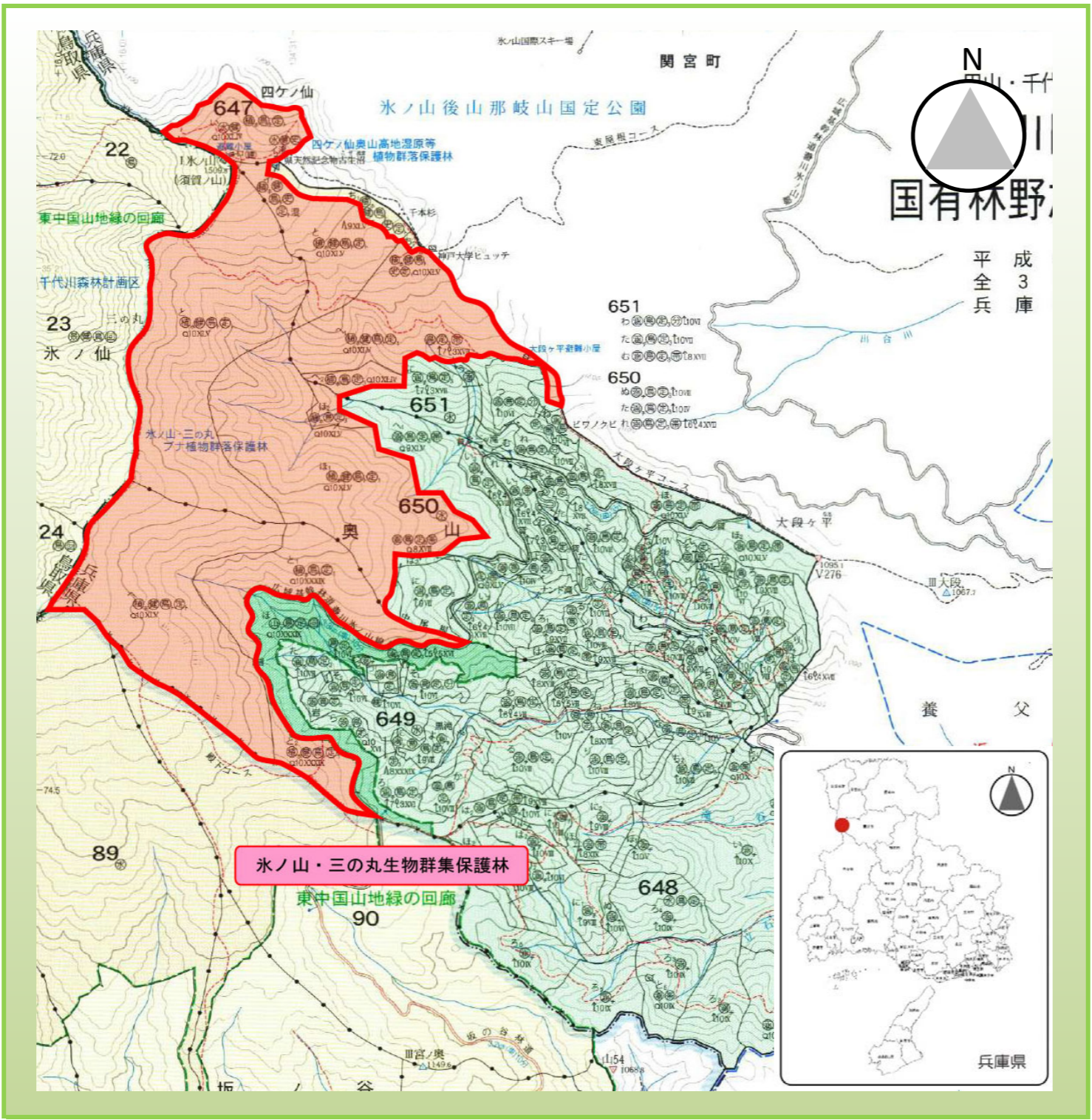
[学術研究での利用状況]
・直近5年間において学術研究等への利用なし。

[巡視等の実施状況]
・森林官による巡視を3ヶ月から半年に1回程度実施しており、必要な取組が実施されている状態。

[機能評価]
・シカによる被害及びイノシシの生息状況に注視していく必要があり、定期的な巡視を継続。

※モニタリング調査の詳細情報については、森林管理局にお問い合わせください。

氷ノ山・三の丸生物群集保護林 [円山川森林計画区]



保護林内での 注意事項

- ★国有林内の動植物の捕獲・採取はできません。
- ★国有林内では火気厳禁です。禁煙にご協力ください。
- ★自然環境の保護と安全な利用のために、歩道等を外れないようにお願いします。